夕刊 臺灣日日新報
（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可） 昭和十六年十一月三十日（日曜日） 第一万四千九百八十九號 （一）
十一月二十九日 夕刊一面二頁 朝刊一面二頁
定價 一月 一圓 臺灣各地 臺北市 臺北市 臺北市

地軸を揺がす銃聲

郷軍の連合演習火蓋を切る

各所で壯烈な攻防戰

光る貧者の一燈

武官府に赤誠獻金は續く

雨中に眞摯敢闘の姿

九十八名の選手ら力走

健脚隊一齊にスタート

けふ聖地巡歴の繼走大會

土産は〝練つた肚〟

勤報青年隊けふ退隊式

また徹底を缺く

臨時郵便法の適用

不用意放慢は遺憾に存候

火災に用心しませう

一日から全國一齊に防火日

締盟一周年を喜ぶ

臺北で記念島民大會

交驩の集り

あす臺北鐵道ホテルで

互に自戒協力

臺北州民擧つて無火災に邁進

猫の目のやうな

この頃の御天氣

十哩を驀進

北二中生達健脚競走

勤勞精神の啓培や

訓練の徹底など

志願兵熱の促進にも拍車

どん栗から飴

行商人の一齊手入れ

今日鳥公奉民皇く湧に運動

高雄州の巻①

学野特派員現地報告記

白衣の勇士ら聖地巡拜【大阪發】聖戰勇士の聖地參拜團第一班は聖地參拜の明治二百年の記念日に當る十日午前九時名古屋驛着の豫定にて、無慮數百、同日午後二時半名古屋驛着の豫定にて、同九時名古屋驛を發車した（寫眞は名古屋驛着列車の白衣の勇士）

ナイヤー重傷入り

寫眞はルンビラニー公園とナコンパトムの黃金塔【若林特派員撮影】

大事を決するの日　伯爵金子堅太郎　武藤貞一

日露戰爭と伊藤公の苦心と深謀遠慮

●常習便秘　●食慾不振　●榮養促進

特に

ミクローゼは腸内以上に生存力強靱な日本固有のビール有効菌に榮養素を合わせ腸内榮養を高め腸内環境を改善し腸の蠕動運動を促し、榮養化治療力增進の顯著作用を有す

生藥糖衣　ホシ　ミクローゼ　胃腸藥

一ヶ月分(360錠)　一円五〇錢

家傳お灸

御法院法官　江草先生出張

毎日午前九時より午後五時迄　於臺北市公會堂

南方英荼

重寶入り

商況（廿九日）

東京短期前場

米　綿糸　砂糖　大豆　安　七五　七五　七五

（第三種郵便物認可）　昭和十六年十一月三十日（日曜日）　臺灣日日新報　第一万四千九百八十九號　（三）

南方英華

援蔣獻金に反對す
中國人誘拐事件に發端して
比島華僑全世界に飛檄

【馬尼拉廿九日發同盟】比島ヒリピン華僑抗敵後援會本部が朝日、毎日、商報、新聞各社宛「比島人の名を以て中國抗日團體合會より、日米開戰以來、比島北部三百十三箇所の華僑學校閉鎖を命ぜられ、數萬の華僑子弟が學業を廢せざるを得ざるに至つたのは、日本軍部の壓迫に基因するものであるとの口實の下に、比島華僑に對し、重慶援蔣抗日團體に參加し、獻金を強要し、若し之に應じざる場合は、漢奸として、日本軍部に密告し、日本軍の手によつて、殺戮せしめんとするものである。比島華僑は、日本軍部の壓迫に對しては、寧ろ死を以て抗議する決意であるが、日本軍部の壓迫を利用して

創造と傳統【上】

福田清人

私は軍艦の窓の間の年、上海方面に旅したことがあつた。その時揚子江から中國マアメリカ、イタリア、フランスなどの軍艦を見た。日本の軍艦もちらつと浮んでゐた。

それらの艦をくべて見るときは見るからに新鮮な感じを受けさせる艦の美しいのは當然の話、堅艦であつた。それ程は望ましい艦ばかりのものではなかつた。それでもその様な印象を與へられた。その後、一時年もあつたか、大體艦式に參列した多くの艦艇を、艦隊港内に碇泊する機會があつたそこにはもつとも新しい艦艇や艦擊を持つた多くの軍艦が浮んでゐた。

艦艇の艦艇は、なほここにない多くの軍艦は無き艦艇の艦艇に遊離してゐると言つてゐた。私はこれらに讀られた艦艇の力よりも感ずる一方、それ〳〵の艦の持つ無比な近代美とうたれた。

ニミルギイと、智能を認められたさまざまな艦艇物としての軍艦の、艦艇への國民的性格といふものを考へたりした時ではなほ、大きな艦艇を持つ艦艇の艦艇を國のかようてゐるが、それ〳〵とこに國艦艦艇を保持つてゐるにちがひない。私は艦艇に浮んでゐるなる艦艇の美と、それらに讀られた艦艇の力よりも感ずる一方、それ〳〵の艦の持つ無比な近代美とうたれた。

ニミルギイと、智能を認められたさまざまな艦艇物としての軍艦の、艦艇への國民的性格といふものを考へたりした時ではなほ、大きな艦艇を持つ艦艇の艦艇を國のかようてゐるが、それ〳〵とこに國艦艦艇を保持つてゐるにちがひない。私は艦艇に浮んでゐるなる艦艇の美と、それらに讀られた艦艇の力よりも感ずる一方、それ〳〵の艦の持つ無比な近代美とうたれた。

ところが先日、ある艦艇と艦艇の會があつた。艦艇と艦艇艦艇艦艇といふ艦艇が及んだ。このような艦艇を通じて、國艦艦艇艦艇艦艇

臺灣日日新報 昭和十六年十一月三十日（日曜日） 臺灣日日新報 第一万四千九百八十九號 A （一）

臺灣日日新報

日刊夕共刊 一八頁
（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）（一ヶ月）
社報百月日曜 新聞 発行所
電話二局 番 一〇八三番 代表
日刊金曜休 ケ一●経大第一
日刊金曜休 ケ二●経大第二
日刊金曜休 ケ三●経大第三
日刊金曜休 ケ四●経大第四
日刊金曜休 ケ五●経大第五
日刊金曜休 ケ六●経大第六
日刊金曜休 ケ七●経大第七
日刊金曜休 ケ八●経大第八
日刊金曜休 ケ九●経大第九
日刊金曜休 ケ一〇●経大第一〇
日刊金曜休 ケ一一●経大第一一
日刊金曜休 ケ一二●経大第一二
日刊金曜休 ケ一三●経大第一三
日刊金曜休 ケ一四●経大第一四
日刊金曜休 ケ一五●経大第一五
日刊金曜休 ケ一六●経大第一六
日刊金曜休 ケ一七●経大第一七
日刊金曜休 ケ一八●経大第一八
日刊金曜休 ケ一九●経大第一九
日刊金曜休 ケ二〇●経大第二〇
日刊金曜休 ケ二一●経大第二一
日刊金曜休 ケ二二●経大第二二
日刊金曜休 ケ二三●経大第二三
日刊金曜休 ケ二四●経大第二四
日刊金曜休 ケ二五●経大第二五
日刊金曜休 ケ二六●経大第二六
日刊金曜休 ケ二七●経大第二七
日刊金曜休 ケ二八●経大第二八
日刊金曜休 ケ二九●経大第二九
日刊金曜休 ケ三〇●経大第三〇
日刊金曜休 ケ三一●経大第三一
日刊金曜休 ケ三二●経大第三二
日刊金曜休 ケ三三●経大第三三
日刊金曜休 ケ三四●経大第三四
日刊金曜休 ケ三五●経大第三五
日刊金曜休 ケ三六●経大第三六
日刊金曜休 ケ三七●経大第三七
日刊金曜休 ケ三八●経大第三八
日刊金曜休 ケ三九●経大第三九
日刊金曜休 ケ四〇●経大第四〇
日刊金曜休 ケ四一●経大第四一
日刊金曜休 ケ四二●経大第四二
日刊金曜休 ケ四三●経大第四三
日刊金曜休 ケ四四●経大第四四
日刊金曜休 ケ四五●経大第四五
日刊金曜休 ケ四六●経大第四六
日刊金曜休 ケ四七●経大第四七
日刊金曜休 ケ四八●経大第四八
日刊金曜休 ケ四九●経大第四九
日刊金曜休 ケ五〇●経大第五〇
日刊金曜休 ケ五一●経大第五一
日刊金曜休 ケ五二●経大第五二
日刊金曜休 ケ五三●経大第五三
日刊金曜休 ケ五四●経大第五四
日刊金曜休 ケ五五●経大第五五
日刊金曜休 ケ五六●経大第五六
日刊金曜休 ケ五七●経大第五七
日刊金曜休 ケ五八●経大第五八
日刊金曜休 ケ五九●経大第五九
日刊金曜休 ケ六〇●経大第六〇
日刊金曜休 ケ六一●経大第六一
日刊金曜休 ケ六二●経大第六二
日刊金曜休 ケ六三●経大第六三
日刊金曜休 ケ六四●経大第六四
日刊金曜休 ケ六五●経大第六五
日刊金曜休 ケ六六●経大第六六
日刊金曜休 ケ六七●経大第六七
日刊金曜休 ケ六八●経大第六八
日刊金曜休 ケ六九●経大第六九
日刊金曜休 ケ七〇●経大第七〇
日刊金曜休 ケ七一●経大第七一
日刊金曜休 ケ七二●経大第七二
日刊金曜休 ケ七三●経大第七三
日刊金曜休 ケ七四●経大第七四
日刊金曜休 ケ七五●経大第七五
日刊金曜休 ケ七六●経大第七六
日刊金曜休 ケ七七●経大第七七
日刊金曜休 ケ七八●経大第七八
日刊金曜休 ケ七九●経大第七九
日刊金曜休 ケ八〇●経大第八〇
日刊金曜休 ケ八一●経大第八一
日刊金曜休 ケ八二●経大第八二
日刊金曜休 ケ八三●経大第八三
日刊金曜休 ケ八四●経大第八四
日刊金曜休 ケ八五●経大第八五
日刊金曜休 ケ八六●経大第八六
日刊金曜休 ケ八七●経大第八七
日刊金曜休 ケ八八●経大第八八
日刊金曜休 ケ八九●経大第八九
日刊金曜休 ケ九〇●経大第九〇
日刊金曜休 ケ九一●経大第九一
日刊金曜休 ケ九二●経大第九二
日刊金曜休 ケ九三●経大第九三
日刊金曜休 ケ九四●経大第九四
日刊金曜休 ケ九五●経大第九五
日刊金曜休 ケ九六●経大第九六
日刊金曜休 ケ九七●経大第九七
日刊金曜休 ケ九八●経大第九八
日刊金曜休 ケ九九●経大第九九
日刊金曜休 ケ一〇〇●経大第一〇〇
日刊金曜休 ケ一〇一●経大第一〇一
日刊金曜休 ケ一〇二●経大第一〇二
日刊金曜休 ケ一〇三●経大第一〇三
日刊金曜休 ケ一〇四●経大第一〇四
日刊金曜休 ケ一〇五●経大第一〇五
日刊金曜休 ケ一〇六●経大第一〇六
日刊金曜休 ケ一〇七●経大第一〇七
日刊金曜休 ケ一〇八●経大第一〇八
日刊金曜休 ケ一〇九●経大第一〇九
日刊金曜休 ケ一一〇●経大第一一〇
日刊金曜休 ケ一一一●経大第一一一
日刊金曜休 ケ一一二●経大第一一二
日刊金曜休 ケ一一三●経大第一一三
日刊金曜休 ケ一一四●経大第一一四
日刊金曜休 ケ一一五●経大第一一五
日刊金曜休 ケ一一六●経大第一一六
日刊金曜休 ケ一一七●経大第一一七
日刊金曜休 ケ一一八●経大第一一八
日刊金曜休 ケ一一九●経大第一一九
日刊金曜休 ケ一二〇●経大第一二〇
日刊金曜休 ケ一二一●経大第一二一
日刊金曜休 ケ一二二●経大第一二二
日刊金曜休 ケ一二三●経大第一二三
日刊金曜休 ケ一二四●経大第一二四
日刊金曜休 ケ一二五●経大第一二五
日刊金曜休 ケ一二六●経大第一二六
日刊金曜休 ケ一二七●経大第一二七
日刊金曜休 ケ一二八●経大第一二八
日刊金曜休 ケ一二九●経大第一二九
日刊金曜休 ケ一三〇●経大第一三〇
日刊金曜休 ケ一三一●経大第一三一
日刊金曜休 ケ一三二●経大第一三二
日刊金曜休 ケ一三三●経大第一三三
日刊金曜休 ケ一三四●経大第一三四
日刊金曜休 ケ一三五●経大第一三五
日刊金曜休 ケ一三六●経大第一三六
日刊金曜休 ケ一三七●経大第一三七
日刊金曜休 ケ一三八●経大第一三八
日刊金曜休 ケ一三九●経大第一三九
日刊金曜休 ケ一四〇●経大第一四〇
日刊金曜休 ケ一四一●経大第一四一
日刊金曜休 ケ一四二●経大第一四二
日刊金曜休 ケ一四三●経大第一四三
日刊金曜休 ケ一四四●経大第一四四
日刊金曜休 ケ一四五●経大第一四五
日刊金曜休 ケ一四六●経大第一四六
日刊金曜休 ケ一四七●経大第一四七
日刊金曜休 ケ一四八●経大第一四八
日刊金曜休 ケ一四九●経大第一四九
日刊金曜休 ケ一五〇●経大第一五〇
日刊金曜休 ケ一五一●経大第一五一
日刊金曜休 ケ一五二●経大第一五二
日刊金曜休 ケ一五三●経大第一五三
日刊金曜休 ケ一五四●経大第一五四
日刊金曜休 ケ一五五●経大第一五五
日刊金曜休 ケ一五六●経大第一五六
日刊金曜休 ケ一五七●経大第一五七
日刊金曜休 ケ一五八●経大第一五八
日刊金曜休 ケ一五九●経大第一五九
日刊金曜休 ケ一六〇●経大第一六〇
日刊金曜休 ケ一六一●経大第一六一
日刊金曜休 ケ一六二●経大第一六二
日刊金曜休 ケ一六三●経大第一六三
日刊金曜休 ケ一六四●経大第一六四
日刊金曜休 ケ一六五●経大第一六五
日刊金曜休 ケ一六六●経大第一六六
日刊金曜休 ケ一六七●経大第一六七
日刊金曜休 ケ一六八●経大第一六八
日刊金曜休 ケ一六九●経大第一六九
日刊金曜休 ケ一七〇●経大第一七〇
日刊金曜休 ケ一七一●経大第一七一
日刊金曜休 ケ一七二●経大第一七二
日刊金曜休 ケ一七三●経大第一七三
日刊金曜休 ケ一七四●経大第一七四
日刊金曜休 ケ一七五●経大第一七五
日刊金曜休 ケ一七六●経大第一七六
日刊金曜休 ケ一七七●経大第一七七
日刊金曜休 ケ一七八●経大第一七八
日刊金曜休 ケ一七九●経大第一七九
日刊金曜休 ケ一八〇●経大第一八〇
日刊金曜休 ケ一八一●経大第一八一
日刊金曜休 ケ一八二●経大第一八二
日刊金曜休 ケ一八三●経大第一八三
日刊金曜休 ケ一八四●経大第一八四
日刊金曜休 ケ一八五●経大第一八五
日刊金曜休 ケ一八六●経大第一八六
日刊金曜休 ケ一八七●経大第一八七
日刊金曜休 ケ一八八●経大第一八八
日刊金曜休 ケ一八九●経大第一八九
日刊金曜休 ケ一九〇●経大第一九〇
日刊金曜休 ケ一九一●経大第一九一
日刊金曜休 ケ一九二●経大第一九二
日刊金曜休 ケ一九三●経大第一九三
日刊金曜休 ケ一九四●経大第一九四
日刊金曜休 ケ一九五●経大第一九五
日刊金曜休 ケ一九六●経大第一九六
日刊金曜休 ケ一九七●経大第一九七
日刊金曜休 ケ一九八●経大第一九八
日刊金曜休 ケ一九九●経大第一九九
日刊金曜休 ケ二〇〇●経大第二〇〇
日刊金曜休 ケ二〇一●経大第二〇一
日刊金曜休 ケ二〇二●経大第二〇二
日刊金曜休 ケ二〇三●経大第二〇三
日刊金曜休 ケ二〇四●経大第二〇四
日刊金曜休 ケ二〇五●経大第二〇五
日刊金曜休 ケ二〇六●経大第二〇六
日刊金曜休 ケ二〇七●経大第二〇七
日刊金曜休 ケ二〇八●経大第二〇八
日刊金曜休 ケ二〇九●経大第二〇九
日刊金曜休 ケ二一〇●経大第二一〇
日刊金曜休 ケ二一一●経大第二一一
日刊金曜休 ケ二一二●経大第二一二
日刊金曜休 ケ二一三●経大第二一三
日刊金曜休 ケ二一四●経大第二一四
日刊金曜休 ケ二一五●経大第二一五
日刊金曜休 ケ二一六●経大第二一六
日刊金曜休 ケ二一七●経大第二一七
日刊金曜休 ケ二一八●経大第二一八
日刊金曜休 ケ二一九●経大第二一九
日刊金曜休 ケ二二〇●経大第二二〇
日刊金曜休 ケ二二一●経大第二二一
日刊金曜休 ケ二二二●経大第二二二
日刊金曜休 ケ二二三●経大第二二三
日刊金曜休 ケ二二四●経大第二二四
日刊金曜休 ケ二二五●経大第二二五
日刊金曜休 ケ二二六●経大第二二六
日刊金曜休 ケ二二七●経大第二二七
日刊金曜休 ケ二二八●経大第二二八
日刊金曜休 ケ二二九●経大第二二九
日刊金曜休 ケ二三〇●経大第二三〇
日刊金曜休 ケ二三一●経大第二三一
日刊金曜休 ケ二三二●経大第二三二
日刊金曜休 ケ二三三●経大第二三三
日刊金曜休 ケ二三四●経大第二三四
日刊金曜休 ケ二三五●経大第二三五
日刊金曜休 ケ二三六●経大第二三六
日刊金曜休 ケ二三七●経大第二三七
日刊金曜休 ケ二三八●経大第二三八
日刊金曜休 ケ二三九●経大第二三九
日刊金曜休 ケ二四〇●経大第二四〇
日刊金曜休 ケ二四一●経大第二四一
日刊金曜休 ケ二四二●経大第二四二
日刊金曜休 ケ二四三●経大第二四三
日刊金曜休 ケ二四四●経大第二四四
日刊金曜休 ケ二四五●経大第二四五
日刊金曜休 ケ二四六●経大第二四六
日刊金曜休 ケ二四七●経大第二四七
日刊金曜休 ケ二四八●経大第二四八
日刊金曜休 ケ二四九●経大第二四九
日刊金曜休 ケ二五〇●経大第二五〇
日刊金曜休 ケ二五一●経大第二五一
日刊金曜休 ケ二五二●経大第二五二
日刊金曜休 ケ二五三●経大第二五三
日刊金曜休 ケ二五四●経大第二五四
日刊金曜休 ケ二五五●経大第二五五
日刊金曜休 ケ二五六●経大第二五六
日刊金曜休 ケ二五七●経大第二五七
日刊金曜休 ケ二五八●経大第二五八
日刊金曜休 ケ二五九●経大第二五九
日刊金曜休 ケ二六〇●経大第二六〇
日刊金曜休 ケ二六一●経大第二六一
日刊金曜休 ケ二六二●経大第二六二
日刊金曜休 ケ二六三●経大第二六三
日刊金曜休 ケ二六四●経大第二六四
日刊金曜休 ケ二六五●経大第二六五
日刊金曜休 ケ二六六●経大第二六六
日刊金曜休 ケ二六七●経大第二六七
日刊金曜休 ケ二六八●経大第二六八
日刊金曜休 ケ二六九●経大第二六九
日刊金曜休 ケ二七〇●経大第二七〇
日刊金曜休 ケ二七一●経大第二七一
日刊金曜休 ケ二七二●経大第二七二
日刊金曜休 ケ二七三●経大第二七三
日刊金曜休 ケ二七四●経大第二七四
日刊金曜休 ケ二七五●経大第二七五
日刊金曜休 ケ二七六●経大第二七六
日刊金曜休 ケ二七七●経大第二七七
日刊金曜休 ケ二七八●経大第二七八
日刊金曜休 ケ二七九●経大第二七九
日刊金曜休 ケ二八〇●経大第二八〇
日刊金曜休 ケ二八一●経大第二八一
日刊金曜休 ケ二八二●経大第二八二
日刊金曜休 ケ二八三●経大第二八三
日刊金曜休 ケ二八四●経大第二八四
日刊金曜休 ケ二八五●経大第二八五
日刊金曜休 ケ二八六●経大第二八六
日刊金曜休 ケ二八七●経大第二八七
日刊金曜休 ケ二八八●経大第二八八
日刊金曜休 ケ二八九●経大第二八九
日刊金曜休 ケ二九〇●経大第二九〇
日刊金曜休 ケ二九一●経大第二九一
日刊金曜休 ケ二九二●経大第二九二
日刊金曜休 ケ二九三●経大第二九三
日刊金曜休 ケ二九四●経大第二九四
日刊金曜休 ケ二九五●経大第二九五
日刊金曜休 ケ二九六●経大第二九六
日刊金曜休 ケ二九七●経大第二九七
日刊金曜休 ケ二九八●経大第二九八
日刊金曜休 ケ二九九●経大第二九九
日刊金曜休 ケ三〇〇●経大第三〇〇

王クレヨン 臺灣日日新報 パッセル

濱綿公路領空哨戒
米國假面を脫す
援蔣遂に對日行動化
張滿洲國國務總理談

【ニューヨーク二十八日發同盟】二十八日のUPワシントン發が當國政府當局の話として傳へるところによれば、米國は濱綿公路經由の援蔣物資の輸送を監視するため、同公路の國境線に沿ひ米國飛行士の操縦する米國飛行機を配置することを決定した、と。

【ニューヨーク二十八日發同盟】二十八日のUPワシントン發が當國政府當局の話として傳へるところによれば、米國は萬一の場合に備へ、緬甸ルート上空の哨戒を強行することとなつたと傳へられるが右は現に米國が大西洋の防衛上急を告げつつある獨逸上空を「哨戒飛行」とも稱すべき飛行を以て監視せんとするものであつて、獨逸上空の「哨戒飛行」は當然英國上空にも及ぶことを意味するものである、と。

【東京發同盟】日米交渉の前途は、米國が大西洋の防衛水域の擴大と同時に緬甸ルート方面の援蔣ルート防衛強化の爲大型長距離爆撃機の配置に踏切るか否かに懸つて居るとの觀測が有力となつて來た、と。

【ニューヨーク二十八日發同盟】二十八日のUPワシントン發が當國政府當局の話として傳へるところによれば、米國は萬一の場合に備へ、緬甸ルート上空の哨戒を強行することとなつたと傳へられるが右は現に米國が大西洋の防衛水域の擴大と同時に緬甸ルート方面の援蔣ルート防衛強化の爲大型長距離爆撃機の配置に踏切るか否かに懸つて居るとの觀測が有力となつて來た、と。

【東京發同盟】日米交渉の前途は、米國が大西洋の防衛水域の擴大と同時に緬甸ルート方面の援蔣ルート防衛強化の爲大型長距離爆撃機の配置に踏切るか否かに懸つて居るとの觀測が有力となつて來た、と。

哨戒卽ち發砲を意味
許し難し、米の對日敵性

【東京發同盟】日米交渉の前途は、米國が大西洋の防衛水域の擴大と同時に緬甸ルート方面の援蔣ルート防衛強化の爲大型長距離爆撃機の配置に踏切るか否かに懸つて居るとの觀測が有力となつて來た、と。

社說

日滿華締盟一周年を迎ふ

けふ十一月三十日は昨年の今日中華民國國民に於ても日、滿、華三國條約に共同宣明が中外に公表された歴史的記念日である。爾來此に一年、三國の國交益々日と共に親しく緊密を加へ、各々固有の使命と責務とを遂行するに於ても、各々共榮圏共榮圏の實を擧げ、各々國力の發揮に於ても、各々國防の充實に於ても、各々國民生活の安定に於ても、各々東亞の安定と世界の平和とに於ても、各々其の所を得、各々其の分を盡し、各々其の任を果し、各々其の道を行ひ、各々其の樂を樂しみ、各々其の榮を享け、各々其の福を受けつゝあることは、吾人の衷心より慶賀に堪へざるところである。

顧みれば、昨年の今日、日華基本條約の調印が行はれるや、汪主席は直ちに重慶國民政府の還都を決行し、南京に新國民政府を樹立し、日華兩國は茲に新たに相提携して東亞の新秩序建設に邁進することゝなつたのである。

日華基本條約は、日滿兩國と中華民國との間に於ける善隣友好、共同防共、經濟提携の三大原則を具體的に規定したものであつて、日華兩國は此の條約に基いて、東亞の新秩序建設に邁進することゝなつたのである。

日華基本條約の締結

秀峰觀音の山麓に壯絶・突撃の喊聲

意氣軒昂の郷軍連合演習

島都郷軍連合演習（上）は進撃に移る東軍（中）は西軍陣地附近に於ける山本統監一行（下）は戰終つて樂しき野食に舌鼓打つひととき

出發點の發進に一點の疑惑持つ人の有無が戰況の中樞たる統監部の判斷に重大な關係を持つ事は言ふまでもない、從つて軍司令官の意圖を體して實施部隊の指揮に當る參謀の任務は極めて重大である、されば島都郷軍連合演習に參加した軍參謀の顏觸は二十九日午後より三十日の二日間に亙り臺北郊外の秀峰觀音山麓に集つた、參謀長以下の參謀の下に作戰參謀は新竹州下に進出され、この日部隊中樞の指揮する西軍部隊、（緑軍を分割）と、翌四時前衝突豫定の西軍歩兵の先鋒を以て兩軍東端太平國民學校西門に對峙、この時間前後豫定より左の兩軍の進軍命令を受領す

一、友軍飛行機の偵察による敵の部署を有する歩兵約二個大隊の敵は午後二時三十分頃新莊東端に進出し爾後北方高地の線に陣地を占領す

二、敵は機械化して其後續部隊は新莊附近に集結中なり

三、友軍は一時五發主、大有、和尚洲の線を確保し後退、後圖を策せんとす

四、西軍は國民學校より約四キロの線に展開し機を見て攻勢に轉ぜんとす

一、友軍飛行機の偵察によれば現在の敵は概ね左の如し

二、友軍は新莊街東端國民學校より西北方約一キロの線に展開し機を見て攻勢に轉ぜんとす

三、友軍は新莊街東端國民學校より西北方約一キロの線に展開し機を見て攻勢に轉ぜんとす

四、西軍は國民學校より約四キロの線に展開し機を見て攻勢に轉ぜんとす

東軍想定

友隊は新竹方面より前進中の敵を攻撃する任務を以て十一月二十九日午後四時前衝突豫定の西部歩兵の先鋒を以て兩軍東端太平國民學校西門に對峙、この時間前後豫定より左の兩軍の進軍命令を受領す

一、友軍飛行機の偵察による敵の部署を有する歩兵約二個大隊の敵は午後三時三十分頃新莊東端國民學校より西北方約一キロの線に展開し機を見て攻勢に轉ぜんとす

二、友軍

各地綠合戰

【各地特電】廿七、八兩日の各地一齊綠合戰に於ける各地の成績左の如し

飛躍する〝工業新高港〟の概貌

高度國防國家建設へ

南方資源と睨合せ

製鐵・機械・化學肥料等

埋立面積を擴大

電源開發が急務

工業振興上の諸對策

病床の退職店員に——盡す眞心の二年餘

内臺協助の美談一つ

歷戰勇士に榮譽輝く

屏東市の部

男子體力章檢定

臺南州の日割決定

潮州郡時艱克服敎育者大會

來月七日に開催

歌はぬ勝利 (66)

山中峯太郎作　高木清逸

嘉義競馬

第四日目成績

屏東郡の部

鳳山郡の部

迎春會

心得帖

冬と姙婦

「寒さ時の衞生と榮養心得」

老衰現象に挑む！

發育盛りに養分のバリバを

會社

理髮

男女

石堂

遠藤

杉原產業株式會社

第六回決算報告

新竹州自動車運輸株式會社

潮州郡時艱克服敎育者大會

防空用メガネ入荷

ラヂオは

國民

山葉オルガン

和洋レコード中古賣買

メガネ

女中

給仕

炊婦

附添

債券

カメラ

紙芝居

結婚

醫師

五男秀治(養子)

若松敬造

永田卯三郎

同ツヤ

會葬御禮　櫻井芳次郎

ラジオは中川

カデメ

女性へ

和洋レコード中古賣買

高雄

山葉

梅肉エキス

淋病

冷藏

町の赤電

毛布

ハネ

金屬

種兎

榮養トラフ

姓名

美容

よい

シンガーミシン

斷食

高雄

のせ

ラジ